

「子どもの主体性を育てる保育」Q&A 2018年11月20日発行

末広保育園では「子どもの主体性を育てる保育」を実践しております。保護者のみなさまにはご理解・ご協力をいただきありがとうございます。今回は、保護者の方から頂いたご質問にこの場をかりてお答えいたします。



Q:ハロウィーンが、年々エスカレートして保護者の負担が増えてしまいそうで心配です。

A:『必ず仮装で登園』となると、保護者負担や考え方の違いがあるかと思いましたが、「保育園で思い思いに作成した衣装や道具に加えて家庭にある物を〇日は、身に着けて来てもいいですよ。」と、製作時に子ども達に話し、前日の張り紙での連絡「お家にある物を身に着けて来てもいいですよ。」にしました。帽子をかぶってきたり、衣装を着てきたり、いつもと変わらぬ服装だったり、様々でした。どの子どもそれぞれ保育園のハロウィーンを楽しめていたように感じました。そして、子ども達の「もう1回やりたい！」に答える形で、メール配信「お家にある物を身に着けて来てもいいですよ！」となりました。今後も、このことに限らず保育園からの連絡で不明瞭な事がありましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。



Q:保育まつりがなくなり、生活発表会がクラス別で平日3日間に分かれ、負担を感じます。

A:子どもたちは今、穏やかな秋を十分満喫しています。お散歩で健康な心と体を、お友達と関わりながら社会性や道徳性を、思い思いの遊びで自立心を、遊びの中の試行錯誤で思考力を、身近な環境に積極的にかかわりながら、様々な体験を積み重ねています。この時期に、これらにたっぷり時間を使うことを大切に考えています。2月に予定されている生活発表会は、日々の保育の延長線上にあり、その内容は、これから子どもたちと話し合っ決めていく予定です。子どもの育ちに見通しを持って頂けるように、我が子の育ちをより実感していただけるように、と考えております。そして、みんなに応援していただく為の観客席の関係で3日間に分けることにしました。



Q:お箸の使い方やお皿に手を添えたり持って食べるというマナーが気になりました。

A:「保育園で食べるお食事は、楽しく！を大事にしています。」食事は、1日に何回も行う事です。園や家庭で、少しずつ望ましいマナーを伝えていければ良い。と考えています。‘いただきます。’‘ごちそうさまでした。’の挨拶、お皿に手を添えるなどは、教え込むのではなく大人が見本となり、正しい姿を示しています。そして、子どもの負担にならない程度に、声を掛けています。また、遊びの中で箸やスプーンの持ち方やそれに必要な手の動きを経験できるようにしています。

今回は行事などについてのご質問を中心にお答えしました。何かお気づきやご質問等ございましたら、お気軽に保育士にお話してください。